

ゴリララ日記

ゴリラのおうち
中部屋にて



パシヨウを食べるモモタロウ



その九 ○月△日 お母さん

ある日の朝、ゴリラ舎に行くとき、ゲンタロウがいつもは私を追い回していたのですが、この日は姿が見えません。ゲンタロウは、宝物のやつでゲンキに抱きかかえられて寝ていたのです。この姿を見たとき、私はやっぱりゲンキは「お母さんだー!」と、うれしく思いました。

お客さんに親子関係ですか?と聞かれたとき、今まで、自分の子供だと認識していないと思います。子どもゴリラの面倒を見ているのだと思いますと答えています。

ゲンタロウが、モモタロウに抱かれてくるとき、助けに行くゲンキ。

ゲンタロウが、不安な時には背中に乗せて移動するゲンキ。

ゲンタロウの悲鳴が聞こえるとき、ゲンタロウの元へ駆けつけるゲンキは、やっぱり「お母さん」だと思っています。

ただ……ゲンタロウが食べている物をゲンキが横取りしているのを見るたび「お母さんと違う!」と思う瞬間もあります。

モモタロウもお父さんですが、本当に自分がお父さんだと思っているのか? 体は立派になりました。ゲンタロウはお父さんの大きな背中を見て育っています。また父子の遊んでいる姿を、見るのを楽しんでいます。

担当者より